

(別紙4-1)

1 自己評価及び外部評価結果

R 5年 3月31日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4590100527		
法人名	株式会社 オフィスコおり		
事業所名	グループホーム102 ユニット2		
所在地	宮崎市船塚3丁目101		
自己評価作成日	令和4年4月30日		

※ 介護サービス情報の公表制度のワムネットで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	koori@plum.plala.or.jp
-------------	--

【運営推進会議の構成員】

運営推進会議	運営推進会議開催		
所在地	宮崎市船塚3丁目101		
調査日	令和5年 2月 22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

施設は閑静な高級住宅地に位置し周囲には宮崎神宮、県総合文化公園、宮崎公立大学、平和台公園等が在り、四季折々の自然と清浄な空気に恵まれている。ここで自適な第2の人生を過ごして頂けるよう、職員一丸となつて、安心安全な介護サービスの提供を心がけている。近くには医療機関も多く、入居者様の状態に応じて早めの病院受診を行い苦痛の軽減に努めています。面会解除時は、ご家族にも楽しく面会して頂けるよう、居心地の良い環境作りに努めて当施設では日勤帯と夜勤帯に看護師1名以上を配置して緊急時対応が出来る様に体制を整えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点・課題】

利用者とその家族が望む暮らし方が実現するよう、相談や支援を適切に行われている。看護師の配置もあり、コロナ感染対策が高いレベルにある。問題に対する改善向上と対応力が迅速である。利用者の言動の裏にある思いをくみ取り対応されている。数多くの施設を見た中でここが1番だと思入居させて良かったと思っている。地域との連携も密に取られている。今後の課題として。コロナ禍による面会制限もあり敬老会、初詣等を計画したが、実施出来なかった。短時間での公散歩や日光浴など検討が必要である。又、感染対策や南海トラフ地震に対する、緊急時の対応や連携が必要である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	出来ている	毎朝申し送り後に読み上げる	職員各位理念を言える
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	出来ている	地域包括民生委員連携を取っている	地域活動への参加
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	出来ている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	あまり出来ていない	コロナ禍の書類での対応であった	12月より運営推進会議開催出来た
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	出来ている	介護保険課地域包括連携が取れている	法改正対応空室状況連携がとれた

6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	出来ている	毎月の職場集會にて身体拘束の確認を行っている	運営推進會議で報告をする
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員會2回開催してアンケート調査実施を行い現状把握している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人について研修に参加を促す		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書締結時は数回に渡り説明と質疑応答をしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進會議意見交換をして対応している。ライン対応もしている。	利用者、家族の意見や要望は常に担当スタッフが受け止め日頃より共有している	即答できない場合は管理者が後日対応する
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、職場集會を開催して検討している	24時間体制で職員の意見提案を受け止めて協議して速やかに運営に反映させる	定期的な職場會議で意見を募る

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	勤務表作成時スタッフの希望と有休取得に心掛けています		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	1階と2階に主任を配置して希望休み有休取得に配慮しています。		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	グループホーム連絡協議会などのウェブ研修に参加しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	地域密着型施設であるので家である事を認識して残存機能や好きな事が出来る		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	家族との信頼関係なくしては成り立たない業種なので面会時などに要望や不安に気持ち良く対応する。		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	初期段階で本人と家族が必要としている事を支援しています。		

18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	地域密着型施設であるので残存能力を残して好きな事が出来る生活空間作りを念頭に置いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様と家族の絆を大切にしながら本人様の自立支援して行く関係作りを努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ感染拡大により面会制限や外出制限などに対してリモートにて対応支援をしています。	生活歴などから、その個人が好きであった事を大切にして会話をする	コロナ禍の為にリモートでの電話対応を行う
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活の場であるが入居者様が家族のように慣れ親しんだ関係で暮らせるように配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院後、退院ができない場合契約終了(30日間経過)となる。ご本人様のお見舞い等に行き状態の把握に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃より介護職と看護職の連携を図り個別的な対応と支援をしています。	日常的に介護職の連携はとれているので、早期発見早期治療に努めている	毎日の介護のなかでいつもと違う観察が出来るようにする

24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様の好きな事や嫌いな事を把握して日常の会話から引き出せる様にしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター式用紙使用して一日の過ごし方や状態を把握している。プラン内容のチェック表も使用してる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議や往診医のコメント職員会議、家族からのコメントを評価して介護計画プランを検討しています。	コロナ禍の為に担当者会議の時間が短く書類、電話対応となった	本人様の意思を十分に検討してプラン作成を行う
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	センター式D4シートに日々の記録を記入し、全スタッフの気づきやケアの内容が検討出来る様にしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	在宅マッサージの利用、訪問歯科診療、口腔ケア指導、歯科衛生士依頼しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会を通じて、自治会や地域包括支との連携を図り、回覧板などから情報を得る		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族の希望でかかりつけ医師は継続しています。状態変化時は受診を介護タクシー使用して対応しています。	状態報告をして家族の意思確認確認をとって対応する	急変時の対応確認書を定期的に確認する。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的に介護職と看護職との連携が取れています。早期発見、早期対応に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、医療と介護の連携シート及び基本情報を病院へ提供している。退院時はカンファレンスに参加しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化や終末期ケアの同意書にて家族と本人様の意向を確認しています。	ターミナルケアの為に往診医と訪問看護ステーションの連携を図る	終末期ケア時家族の意思確認を往診医共に方向性を検討する
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に誤嚥時の対応コロナ感染対応など研修を職場集会にて開催しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアル作成しました。運営推進会議で地域住民の方の協力を募り体制を強化に努める	マニュアルの訓練の実施を行った	非常食使い捨てトイレなど購入完了

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所者の尊厳とプライバシーを守る為に個人情報保護法の周知徹底し、個別的な誠意のある対応を実施している	各担当制により個別的な対応を心掛けている	個人情報の内容について個別で判断せず確認してから判断する
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何事も本人の意思や希望を尊重し、スタッフの意見が中心にならない様になっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	あくまでも入居者様が基本で職員の都合や業務上の都合を優先しない様に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	週に2~3回の入浴と2ヶ月に1回のヘアカット皮膚や髪の毛の手入れを行い身だしなみへの支援をしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は健康と楽しみの一つでありメニューに沿って新鮮な食材で給食スタッフの手作りを提供しています。	当施設は病院であった為に厨房設備あり毎食、作りたての食事提供が出来ている	食事を楽しみ出来る様に毎日のメニューを伝える
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量と水分摂取量はチェック表にて個別に把握しています。誤嚥に注意して支援しています。		

42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアも重要な事で清潔保持に努めています。歯科医師による往診と歯科衛生士の訪問歯科を実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来るだけ自立支援をしているが個別の排尿パターンを職員間で共有し、尿失禁を減らす工夫している。	尿意のある方はトイレ誘導を行い転倒に注意しています。	尿失禁の減少努める
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腹部マッサージや軽い運動を行い便秘対策をしています。下剤使用による排便コントロールも実施しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時は、本人様のペースに合わせてゆっくりと実施。気分転換と清潔保持に努めています。	入浴時のバイタルサイン測定。皮膚の状態観察や褥瘡の有無の確認を行う	施設の業務の為に午前中になつたいる為に今後検討。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1日1回の昼寝は健康上大変良いとの医師のコメントあり1時間程度行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医の処方箋にに沿って服薬管理を行っています。与薬時は3回の確認を行い与薬しています。		

48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎日のレクリエーション活動の中で各自が特技や好きな事</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>年間スケジュールの予定がコロナ禍の為に開催できなかつた</p>	<p>敬老会は、コロナ禍の為に中止に初詣で計画もまん延防止の為に中止となった</p>	<p>福祉タクシー予約等も完了していたが開催出来ず弁当配布に変更</p>
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物希望時担当スタッフと共に小遣い管理されている利用者には対応できるがコロナ禍の為に制限があった</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>コロナ感染拡大により面会制限や外出制限などに対してリモート対応を導入しました。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>環境整備と定期的な換気 暑い時寒い時の適時温度湿度を保つようしています。</p>	<p>LEDへの電球交換の実施を行った</p>	<p>快適な環境での生活環境に努める</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者の自分の空間づくりに取り組んだ</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	コロナ禍で面会制限などあったが家族へせ本人様の希望を伝えて良い環境の提供に努めた	家で使っていた物や写真等々持参して貰った	自分の生活の場提供を行う
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が現在、発揮出来る事への導きと気づきを考えて自発的に生活して頂く様にしています。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない